

1994年1月発行 No.

83



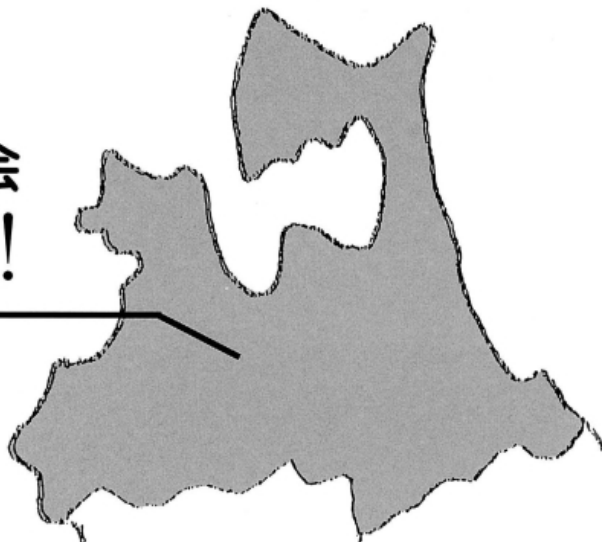
第36回全国印刷緑友会あおもり大会

FRIENDS OF GREEN

 全国印刷緑友会

第36回全国印刷緑友会 青森大会開催！

と き：1993年8月6日(金)・7日(土)
ところ：青森グランドホテル



8月6、7日の
両日に亘り青森グ
ランドホテルにお
いて第36回全国印
刷緑友会あおり
大会が、現在の経
済不況を反映して
か、印刷人として
不況を乗り切ろう
とする熱意のある

方が全国より440余名も参会され、青森県印刷
青年経営者会議の主管により厳粛な雰囲気の中
盛大に開催されました。

大会式典は、青森県印刷青年経営者会議 幹
事 田中日露史君より開会宣言、君が代斉唱・
綱領唱和・物故会員黙禱などすみやかに進行さ
れました。

歓迎の言葉として、あおり大会実行委員長
立花建男君より「業界変動のこの時期、緑友会
のテーマである『ネットワーク作り』が不可欠
になります。今大会は、テーマの一つにある、
『大きな出会い』をねぶたのエネルギーによっ
て気心が触れ合う場、熱い交流を通じてお互
い意気に感じる場にして欲しい」と述べ、こ
れに引き続き全国印刷緑友会 会長 利根川政
明君より、青森県印刷青年経営者会議の皆様
の大会運営に対し御礼を述べられた後、「今
大会では“友情”を強固なものとするために、
現在の不安定で厳しい経済状態のときこそ、
緑友の仲間が大いに語り合い、この状況を打

破する糸口を見つけ、これからの企業発展の糧
として頂きたい。」と述べられた。

次に来賓あいさつでは、青森市長より「技術
革新・高度情報化経済への変革の中、会員相互
の協力の下に地域経済の発展・地域文化向上の
ために支援を賜りたいと同時に“ねぶた”を通
して、熱気と感動・青森市民30万人のエネルギー・
心意気を感じて欲しい」と祝辞され、又余談で
「当地青森まで参集下さるにあたり、新幹線が
盛岡止りで交通不便さに於て大変御迷惑をおか
けて申し訳ない」との言葉に場内より笑いが
起きました。

大会式典に続き記念講演が行われ、青森県出
身のエンターティナー、伊奈かつべい氏を講師
として招き「愛せば故郷」の演題にて、人間ら
しい生き方として各々地域（故郷）に住み、地
域に奉仕する事が大切であると、ユニークな口
調にて講演された。

又、懇親会では活発な意見交換などがなされ
最後に次回セミナー・総会・大会の開催地が発
表され幕を閉じました。



第36回全国印刷緑友会 青森大会を終えて

青森県印刷青年経営者会議

全国緑友会青森大会

実行委員長 立花 建 男



大勢の仲間が集い、ねぶたの興奮の中で開かれた「全国印刷緑友会 あおもり大会」が、今は遠い昔のことのように思われます。

昨年10月より本格的に準備に入りましたが、宿泊の問題、交通の問題等々、困難な課題が山積み、一時は実行委員長をお引き受けしたことを後悔いたしました。

当日は、8月とは名ばかりの肌寒い中、全国より北は北海道、南は沖縄までの全国の緑友の仲間がこの青森に集いました。

利根川会長の挨拶で始まり、記念講演、親睦会、そしてねぶた祭り見物と続くスケジュールでしたが、みな愉快地酒を酌み交わし、お国言葉で語り合い、これが緑友なんだと実感致しました。



慣れない大役を引き受け、皆様にはご迷惑、ご不便をお掛けしたと思いますが、何卒緑友の友情に免じてお許しください。この青森大会を期に緑友の仲間がより一段と強い絆で結ばれることを期待しています。

最後になりましたが、利根川会長をはじめ常任幹事の方々に大会の設営、運営に充たりましては多大なるご支援、ご指導を頂きましたことを心より感謝いたします。

青森大会によろこそおいで下さいました。これからも青森県印刷青年経営者会議に対してご指導、ご鞭撻よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。



第36回全国印刷緑友会 青森大会に参加して

エキサイティング 青森大会

東京都印刷工業組合山之手支部
青山会 伊藤厚志

この度の青森大会に参加させていただき、青森の緑友会メンバーの暖かい対応に感謝しています。ありがとうございました。

我が、青山会は、入会してまだ日も浅く、今回を含め二回目の大会参加でした。当会メンバーも緑友会活動を徐々に理解され、数名の参加が出来ました。ねぶた祭の期間中という大変セッティングの困難な時に開催することの意味が良く掴めなかったのですが、大会に参加し、緑友会の目的のひとつである親睦という観点からの開催であったことが良く理解出来ました。ねぶた祭を観るのは初めてでしたのであれほどエキサイトするとは想像以上でしたし、家族で観ることができとても素晴らしい体験でした。これも偏に全国に広がる会の良さであり、青森のメンバーの一年以上前からのきめ細かな準備のお陰と感謝します。今後共、緑友会の発展を祈り、友情の輪が広がる事を願っています。



初めて大会に 参加して：

神戸印刷若人会

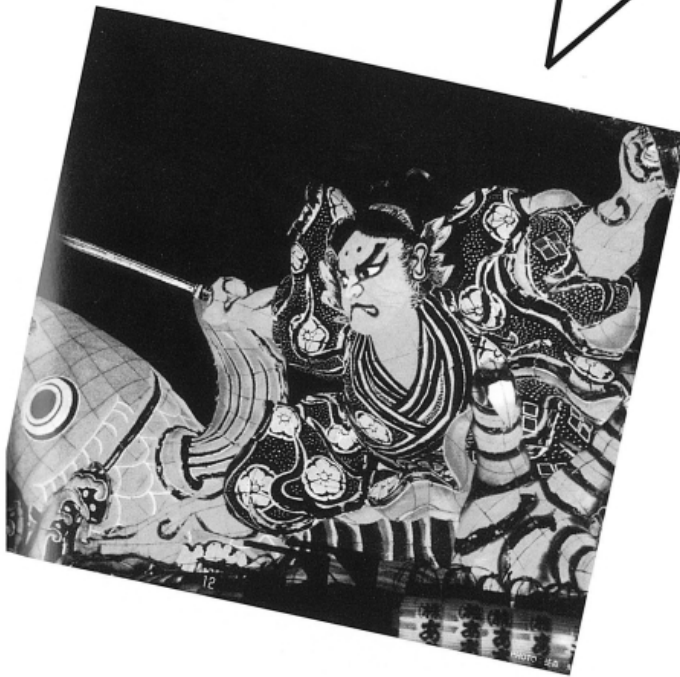
庄 司 友 則

今回の青森での緑友大会は、私にとって初めての大会参加であり、青森を訪れるのも初めてでしたので、出掛ける前から非常に楽しみにしていました。

気候的には少し涼しすぎる位でしたが、勇壮なねぶた祭り、海産物の美味しさ素晴らしさは期待以上で、盆休み前の仕事の忙しい中、青森まで出掛けた甲斐があったと思いました。

ただ、大会の中でトーキングタイムではありませんが、他の緑友会員と話し合う機会が少なかったのは少し残念だったような気がします。

青森大会実行委員会の皆様方、本当にご苦勞様でした。

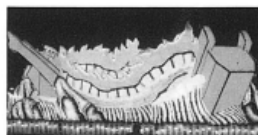


感動した ねぶた祭り

名古屋而立会

後 藤 規 之

青森大会には、私と妹、木野瀬さん、児玉さん、そしてすでに現地入りしている棚橋(泰)さんと5名でチャーター機で8月6～8日の3日間行ってまいりました。青森には一度も行った事がなかったのですごく楽しみにしていました。天気の方もどうにかもってくれたのですごくいい旅が出来ました。ねぶた祭りのすごさの一つには誰でも参加できる場所だと思います。名古屋では祭りに参加するのは特定の人達だけです。自分達の祭りと言う気になれません。それに市全体が一つの祭り気分になっているこ



と自体におどろきました。

翌日の7日は青森から秋田の十和田湖へ、又、奥入瀬へと足を伸ばしました。大自然のまま残っている奥入瀬には本当にすがすがしく感じました。又夜は、浅虫温泉も食事が美味しく温泉がとても良かったです。

また来年も行きたいと思いました。

訳けの**分**からない

ままでの

青森大会

名古屋而立会
津田 和 孝

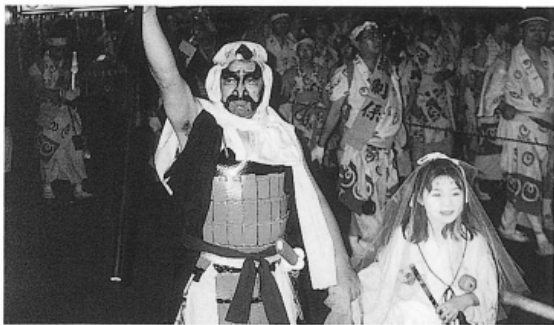
私は今年入会したばかりで、緑友会のことは全くわかりませんでしたが、名古屋而立会の人達の強い勧めがあったので青森全国大会に参加しました。

参加してまず驚いたのは、さすが全国緑友会というだけあって北海道、九州、沖縄まで、全国各地から参加者がいるということでした。ただ、大会という名称のわりには、印刷関連の話題が少々乏しいように感じました。

しかし、夜の青森のまちにくり広げられたねぶたの迫力には圧倒され、しっかり脳裏に焼きついて今も離れません。

青森の皆さん、本当にありがとうございました。





行って良かった 思い出多き 青森大会

名古屋而立会

佐藤 壽 記

8月6日の朝、東京はどしゃ降り。青森の天気はどうだろうか。昨晚ジュリアナ東京へ行ったAさんや新入会員のT君は、集合時間に遅れずに来るだろうか。そんな心配から今年の緑友大会は始まった。

青森に着いてみれば快晴。Aさんからも楽しい報告があり、そんな心配は一気に吹き飛んでしまった。

今年の大会のお目当ては何といっても「ねぶた」観戦。式典も講演もどうしても良かった（青森の方ごめんなさい）のだが、ただの「お笑い」と思っていた伊奈かつぺい氏の楽しくて役に立つ(?)お話しには思わぬ収穫と喜んでおります。（これが緑友のいい所である。それだからやめられない）

「ねぶた」も予想通り素晴らしかった。これほど市全体が盛り上がれば、自然に我々も感動を覚えます。（青森のパワーはすごい!）

それにしても、あっという間の大会ではありましたが、またおみやげを頂いて帰る事が出来ました。今後共、緑友の活動によって有意義な時を過ごしたいと思いますので、幹事の方々緑友の仲間の方々よろしくお願いします。



各地のE・V・E・N・T 報告

愛媛印刷人青年会 創立20周年記念

●開催日/7月24日(土)・25日(日)
●会場/テクノポート今治(今治市)

7月24日(土)、今治市テクノポート今治に來賓をはじめとする多数の参加による、愛媛印刷人青年会創立20周年が盛大に開催された。

緑友会より、利根川会長、ブロック担当幹事の佐々木孝明君(広島青年印刷研究会)と、安藤広報委員長が参加。

午後3時より、愛媛印刷人青年会会長、青木宏重君の挨拶で式典が始まり記念講演へと、講師に(株)ニュークリアスクリエイティブセンター社長、森川眞行氏を迎え「デザイナー側からみたマッキントッシュDTP」と題して、マッキン



トッシュの攻略法を身近な題材を素に分かり易く話され、一般の聴講者も多いことから、素晴らしい内容だったと思います。

懇親会では、愛媛県印刷工業組合長、関啓三氏と利根川会長が同席、親交を深められました。又、來賓として、高知県印刷工業組合青年会、会長・副会長とも歓談、緑友会のPRもしておられました。

翌日は、20周年記念事業の一環として、遊ぶ印刷展・「プリントアートメッセージinいまばり」

が同会場ホールにて開催された。

マッキントッシュによるコンピュータデザインの実演・展示コーナー・チャリティーリサイクルコーナー・アマチュアバンド演奏など、多彩な催物を企画されていました。

最後に愛媛印刷人青年会の団結とパワーを感じた2日間でした。



京阪神合同例会

●開催日/7月27日(土)
●会場/新神戸パークアベニュー(神戸市)
●主催/神戸若人会

京阪神の合同例会が本年度は神戸若人会の主催で神戸オリエンタルホテル地下新神戸パークアベニュー内のキング&クイーンにて7月24日午後5時より開かれた。

全国印刷緑友会から利根川会長の代理として総務担当常任幹事の西岡義榮君(神奈川正和会)が出席、挨拶をした。家族も一同に参加するという企画で、約80名の家族が集まり年に一度の再会を楽しんだ。和気あいあいの中で子供達も、しゃぶしゃぶとプレゼント抽選会ですばらしい賞品をもらって大喜び、大変盛りあがった例会となった。当日、六甲山ロープウェイに乗る予定であったが、折しも台風4号の兵庫県通

過という最悪の事態となり、ロープウェイが運転中止となってしまう計画が縮小されてしまった。少し行事的には寂しい会となったが旧交を暖めることが出来たようだ。

神戸・大阪・京都の青年印刷人が今後とも仲良く情報交換と交流を重ねて大きな存在感のある京阪神の組織となって行くことだろう。

第11回九州・山口青年印刷会 北九州大会

●開催日／8月21日(土)
●会場／スペースワールド(北九州市)
●主催／北九州Y Pクラブ

8月21日(土)に第11回九州・山口青年印刷人大会が、北九州Y Pクラブの主管によりまして、開催されました。

九州・山口青年印刷人大会は、九州・山口が同じ地域と意識をし、地方印刷業の活性化を求める青年印刷人が、年に一度集まり親睦を中心に胸襟をひらいて語り合い情報の交換と友情を深めようとする会です。

各地で行なわれる青年印刷人大会は、色々な工夫をこらしてオリジナリティにとんだ本当に楽しい大会運営でした。

今回の北九州大会の場合、Y Pクラブの仲間のゼンリングループを見学し、そしてテーマパークとして北九州の新しいイメージの象徴でもある“スペースワールド”で遊び、懇親パーティーをおこないました。

今大会には、会員が130名、家族の皆様が25名、総勢155名の参加を頂き、大変盛況な大会となりました。

夕方より雨となり心配いたしましたが高んとか楽しい大会とする事ができたのではないかと思います。

緑友会より利根川会長と逸見君のご出席をいただきました。Y Pクラブ会員一同感激いたしました。また今回は、鹿児島の大変な水害のあとでしたので、パーティの席上、出席者全員で“ガンバレコール”をおくり激励をいたしました。

来年の大会は、熊本県印刷緑友会の皆様により、7月9日(土)に開催されます。

今回の北九州大会にご出席いただきました会員の皆様方に、感謝申しあげ、また来年の熊本でお会いする事を楽しみにいたしております。

第29回トップ印刷人セミナー

●開催日／9月4日(土)・5日(日)
●会場／有馬グランドホテル(神戸市)
●主催／大阪青年印刷人クラブ

毎年、恒例ともなりました、大阪青年印刷人クラブ主催の「トップ印刷人セミナー」が9月4日(土)・5日(日)と開催される。

数を重ねられて第29回、毎年とは言え、各界の著名人・学識者を講師に招いてのセミナー。今年は、第一講にジャーナリストの大谷昭宏氏、政治・経済はもとより刑事事件と今一番、話題性のあるものから、人の暖かさを題材にした内容などバリエーションな講演。

第二講は、新生松竹新喜劇、三代目渋谷天外氏、二代目の父、天外と自分との生き方、そして大阪芸人としてのエピソードなど楽しい話でした。

緑友からは、利根川会長、梶原君、岡田君、安藤各常任幹事が参加し、夜は有馬温泉で身も心も安らぐ懇親会でした。

グループ長・常任理事

合同会議開催される

開催日／11月13日(土)・14日(日)

会 場／南熱海マリンホール

主 催／常任幹事

緑友会始まって以来の、一泊二日のグループ長会議が開催されました。

当日は悪天候のため、空港閉鎖で欠席、あるいは交通渋滞で遅れるグループ長がみえるなか、定刻より30分遅れで進められました。梶原総務委員長の司会で、利根川会長より本会議を有意義なものにしたいと述べられ、各委員会報告では、福岡セミナーの現況報告と参加へのアピール、次に仙台総会における会場が三案提出され、日程等調整し後日決定することになりました。

引き続き第一部、パネルディスカッションに入り、パネラーには、利根川会長はじめ常任幹事と青山会、逸見君にお願いし、グループの活性化、緑友会の運営、グループと緑友との関係等のテーマで各自発表、その後休息をはさんで、第2部全体会議、テーマ「緑友会運営と各グループの活性化」副題として、緑友会の3事業の運営と差別化について、各グループ長より、今までの限られた時間での発表と違い、貴重な意見が数多く出され、熱気あふれるものでした。終了後、タクシー、自家用車で約20分程度の懇親会及び宿泊のホテルに移動いたしました。懇親会における酒宴もそこそこに、各部屋5～6名で、夜更けまで酒を酌み交わしながら、話に花が咲いていました。

本会議を開催するにあたり、各グループ長に事前にアンケート調査を行ないました。議事運営上大変に役立つと同時に、今後の活動資料となりました。ご協力ありがとうございました。

総務委員長 梶原伸郎



利根川会長 グループ訪問記

愛媛印刷人青年会 創立20周年記念

開催日／7月24日(土)・25日(日)

会 場／テクノポート今治(今治市)



神戸若人会 京阪神合同例会

開催日／7月24日(土)

会 場／新神戸パークアベニュー(神戸市)

北九州YPクラブ 第11回九州・山口青年印刷人・北九州大会

開催日／8月21日(土)

会 場／スペースワールド(北九州市)

大阪青年印刷人クラブ 第29回トップ印刷人セミナー

開催日／9月4日(土)・5日(日)

会 場／有馬グランドホテル(神戸市)

こんにちは

Be Ambitious, Mr. Green!!

札幌青年印刷人の会

伊藤 文二

(渉外担当常任幹事)

全国緑友の皆様、こんにちは。札幌青年印刷人の会です。実は先日、総会を終えたばかりでして、決算書を見ると17年目を迎えていました。早いものでこれと言った周年行事もなく、やはり20周年は盛大に、などと考えております。

札幌と緑友との関りは、我々の大先輩たちが「札幌緑友会」として第11回の総会を主管する等、活動されていたのですが、何故か自然消滅、昭和52年に竹内一博前会長が中心となって現在の会を再興し、54年には25回大会、平成3年には34回総会をそれぞれ主管させて頂き、その間、昭和62・63年の2年間で我々の竹内氏が緑友の会長を務めさせて頂きました。現在会員数は22名、中林昭人新会長のもと毎月13日を定例とし交流を深めております。

かつてはクリスマス家族会、スキー大会など楽しい行事も多かったのですが、他のグループに見られるような社会的奉仕活動や対外的事業とはほとんど縁がなく、もっぱら自己研鑽と親睦とが中心の活動でして、ホームグラウンドはやはりススキノ、結束力の固さが自慢です。



近年若手のメンバーの活躍は目覚しく、少数ながら会の充実を更に高めてくれるものと確信しております。それに対し団魂の世代ですが、数えてみると何と半数の11名、高齢化対策は世の常であり勿論緊急課題であると同時に、それぞれのジュニアが5年もしたら有力な後継者として育って来るはずであり、又、彼等へのスムーズなバトンタッチは将来的な課題でもあります。我々の会の活性化や北海道の印刷界の発展を考えると、我々団魂の世代の更なる奮気がキープポイントとなるでしょう。

幸い良き先輩メンバーやOBの方々にも恵まれ、今後は輪を全道各地に拡げることも視野にとらえ、限りなき前進を志向する我々「札幌青年印刷人の会」にご声援を!!

予 告

第27回全国印刷緑友会 福岡セミナー 1994・2・19(Sat)

博多都ホテル■登録費¥12,000円
全国印刷緑友会常任幹事会／福岡印刷若葉会

当日スケジュール

受付 12:00～
式典 13:00～
セミナー① 13:40～
「森 重隆のマーケティング概論」
講師 森 重隆氏
セミナー② 15:25～
「ハイテクノロジー・コミュニケーションズ」
講師 稲垣長利氏
懇親会 18:00～19:30

開催場所

都ホテル（JR博多駅前）
福岡市博多区博多駅東2丁目1番地
電話 (092)441-3111

登録申込み・問い合わせ

福岡印刷若葉会事務局
福岡市博多区築港本町6-1
福岡印刷会館内 山崎 肇一郎宛
電話 (092)272-2631
FAX (092)272-2632

OB名簿委員会

全国印刷緑友会会員名簿に誤りがあり、深くお詫び申し上げます。
下記内容を訂正して下さい。

誤 正
10頁 歴代の幹事長・会長 第10代 若山昇一 → 若山晃一
〃 歴代の幹事長・会長欄の 死亡(2ヶ所を) → 故人



全国印刷緑友会

FRIENDS OF GREEN

FRIENDS OF GREEN No.83

〒113 東京都文京区湯島 2-4-4

TEL.03 (3811) 1111(代)

発行人 利根川 政明(文京緑友会)

編集人 ぎふ印刷翠陽クラブ
